

ふれあいネットワーク

やえせ社協だより 第17号

編集・発行 社会福祉人 八重瀬町社会福祉協議会

《本誌》〒901-0401 八重瀬町宇和崎平 1318-1 TEL098-998-4000 FAX098-998-8999 E-mail yaese-shakyo@woody.ocn.ne.jp
 《員志願支所》〒901-0512 八重瀬町宇員志願 645 TEL098-998-4677 FAX098-998-1948 E-mail gushikami-shisyo@image.ocn.ne.jp

～第1回 八重瀬町社会福祉大会が開催される～

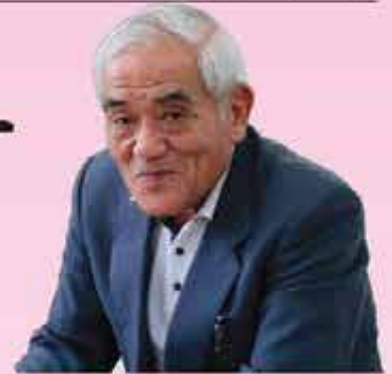


「地域の福祉力を集結し、住みよい町を築きましょう」のスローガンの下、第1回八重瀬町社会福祉大会（主催・八重瀬町、八重瀬町社会福祉協議会）が平成22年11月26日（金）に、八重瀬町具志頭農村環境改善センターで開催されました。

この日は、合併後初めての開催とあり、町内の社会福祉関係者約400人が出席し、町の地域福祉に貢献したとして、特別功労者、社会福祉事業勤続功労者、優良社会福祉施設団体並びに地域団体及び個人、自立更生者の計58人23団体に表彰状や感謝状が贈られました。

この「社協だより」は会費・寄付金・赤い羽根共同募金配分金等で作成されています。

新春 社協会長インタビュー



2011年(平成23年)の新しい年を迎えるにあたり、八重瀬町社会福祉協議会の諸見里眞常会長に今年の抱負等を語っていただきました。

Q まず、町民の皆様にも年頭のごあいさつをお願いします。

A 町民の皆様、新年明けましておめでとうございます。昨年は社協事業に対する理解、ご協力、ご支援を賜り、深く感謝申し上げます。今年も、安心して安全な福祉のまちづくりの実現を目指して、役職員一同心を込めて職責を果たすべく頑張る所存でございますので本年もよろしくお願い申し上げます。

Q 昨年、一番印象に残ったことは何ですか？

A 昨年は、盛りだくさんの事業があり、多くの方々からのご支援ご協力があり、感謝感動の連続でした。ありがとうございました。多くの町民からの温かいチムグクルを頂き感動しました。昨年は、地域のみなさんに支えられた地域コミュニティネットワーク事業も定着しつつ、多くのボランティアに支えられ、様々な事業で地域の活性化の一役を担うことができました。また合併後初の社会福祉大会を開催し、ご活躍の皆様にご感謝の意を伝えることができました。経済の低迷による福祉ニーズも増大・複雑多様化する中で、会社、事業所等経営の環境もきびしさを増してきたにもかかわらず、会費や募金のご支援に対しても、温かいチムグクルに感激し感謝しているところです。

Q 今年は、どんなことに力を入れたいですか

A 八重瀬町誕生に伴い、社会福祉協議会が合併して満5年になります。今年の事業として、「ふれあいのまちづくり事業」、「高齢者の生きがいと健康づくり事業」、「食の自立支援サービス事業」、「ボランティアセンター事業」、「セーフティネット(防災事業)」、「各相談事業」など住民目線を大切に地道に展開してまいりたいと思っています。また、7地区に分けた「地域コミュニティネットワーク事業」のこれまでの事業を見直し、検証することで、今後の社協活動の在り方を、役職員の結束をもって町民の知恵と地域力をお借りしながら、十分に考えていく年にしていきたいと思っております。

Q 町民の皆様にお伝えしたいことは？

A 困っている方々を助け合い、互助の精神を発揮して、明るく住みよい地域づくりの実現に向けて、皆の力を合わせていきましょう。そして、この町に住んで良かったと思える共生のまち八重瀬町にしましょう。今年も、皆さんが健康でご活躍できる良い年になりますようご祈念致します。



八重瀬町誕生初の

第1回

八重瀬町社会福祉大会が 開催される

「地域の福祉力を集結し、住みよい町を築きましょう」のスローガンの下、第二回八重瀬町社会福祉大会（主催：八重瀬町、八重瀬町社会福祉協議会）が平成22年11月26日（金）に、八重瀬町具志頭農村環境改善センターで開催されました。

式典

諸見里眞常大会長（社協会長）は、「この大会を契機に地域福祉の二層の向上に努め、安信・安全なまよつくりのため皆様のご力強いご支援をお願いしたい」と大会長式辞を述べました。

また、比屋根方次町長より「町としても、福祉の更なる充実と諸々の活動を支援していくので、社協には子どもから高齢者までの相談、生活密着型の複雑なことへの取り

組みなど、福祉活動を強化し、幅広い住民サービスを展開してほしい」と、激励のごあいさつがありました。

この日は、合併後初めての開催とあり、町内の社会福祉関係者約400人が出席し、町の地域福祉に貢献したとして、特別功労者7人2団体、社会福祉事業勤続功労者29人、優良社会福祉施設団体並びに地域団体21団体及び個人21人、自立更生者1人の計58人23団体に表彰状や感謝状が贈られました。

スローガン

「地域の福祉力を
集結し、
住みよい町を
築きましょう」



▲大会長式辞(諸見里眞常社協会長)



▲大会副会長 開会のことば(神谷栄助社協副会長)



▲神谷大輔氏



▲大城友弥氏



▲町長あいさつ(比屋根方次町長)



▲長嶺弘子氏



▲(社)沖縄県軍用地等地主会



▲屋嘉比清門下会

この「社協だより」は会費・寄付金・赤い羽根共同募金配分金等で作成されています。

第 7 回 八重瀬町社会福祉大会

特別功労者

大会長感謝

受賞者を代表し、仲座清次郎氏(宇小越)は、「受賞は私たち一人だけの力ではなく地域の皆さまの支えがあったからこそです。この受賞を糧にして町の福祉向上に貢献したいと思います。」とお礼のあいさつをされました。
受賞者は、次のとおり。
(順不同・敬称省略)



▲仲座清次郎氏



▲長嶺孝子氏



▲民生委員 八幡和子氏



▲宇座徳幸氏



▲具志頭ふれあいいきいきサロン



▲金城玲子氏



▲具志悦子氏



▲仲村春子氏

表彰

- 長嶺弘子(伊弉)
- 長嶺孝子(港川)
- 野原実(東風平)
- 仲座清次郎(小越)
- 宇座徳幸(長毛)

永年勤続功労者

- (民生委員児童委員9年以上)
- 八幡和子(新城)
- 新垣春子(伊弉)
- 新垣弘子(世名城)

永年勤続功労者

- (社会福祉施設職員)
- 石原清(友寄第一団地)
- 喜友名美智子(屋宜原団地)
- 平仲弘子(後原)
- 徳元光子(破名城)
- 桃原和枝(安里)
- 平田恵子・金城玲子
- 知念信江・諸見謝貴美子
- 赤嶺初子
- (みどりが丘保育園)

- 津波古幸美・当真園子(港川保育園)
- 新嘉喜妙子・宮城すみえ
- 金城初美・玉城良江
- 玉城清美
- (のびる保育園)
- 大城高子・新城晴美
- 大城ゆかり・大田茂秋
- 吉田郁子・武富美代子
- 伊保正広・鳥袋緑
- 金城桂子(転生園)



▲森田清光氏



▲小宮山利津子氏

優良地域活動(団体)

具志頭ふれあいいきいきサロン
 港川ふれあいいきいきサロン
 破名城ふれあいいきいきサロン
 仲座ふれあいいきいきサロン
 新城ふれあいいきいきサロン
 後原ふれあいいきいきサロン
 長毛ふれあいいきいきサロン
 安里ふれあいいきいきサロン
 与座ふれあいいきいきサロン
 睦美会(富盛)
 寿会(宜次)
 花笠会(高良)



▲祝辞 沖縄県社会福祉協議会 新原健久会長



▲受賞者代表あいさつ(仲座清次郎氏)

優良地域活動(個人)

末広会(小城)
 東風平いきいきクラブ
 ガジマル会(世名城)
 ひまわり会(伊弉)
 かりゆし会(上田原)
 ていみぐら会(当銘)
 大頓ミデイサービスボランティア
 八重瀬町赤十字奉仕団
 八重瀬町更生保護女性会
 仲村春子(破名城)
 仲間ヨシ子(具志頭)



▲記念講演講師の大田朝章氏



▲祝辞 八重瀬町議会 知念昭則議長

諸見謝トヨ子(新城)
 諸見里トミ子(後原)
 新垣トミ子(東風平)
 本村繁(宜次)
 比屋根トシ(伊弉)
 金城トヨ(伊弉)
 国吉光子(上田原)
 山城加蔵(高良)
 知念千代子(世名城)
 具志悦子(東風平)
 宮城嘉(宜次)
 新垣真知子(東風平)
 松川みどり(東風平)



▲閉会のことば 大会副会長(福島正徳副町長)



自立更生

宇座静枝(港川)
 小宮山利津子(東風平)
 上原純子(港川)
 仲底直江(長毛)
 仲西幸子(港川)
 知念初枝(後原)
 森田清光(破名城)

記念講演
 大会を記念して、「私の歩んだ道」をテーマに八重瀬町顧問弁護士で、町社会福祉協議会ふれあい相談室法律相談員の大田朝章氏による講演会がありました。氏の幼少の頃や学生の頃、柔道界と法曹界での苦労話など、苦勞を苦勞と思わない淡々とした話しぶりに、会場の皆さんは熱心に聴き入っていました。

また、町議会の知念昭則議長より、「社会福祉の問題はすべてのごことに優先して取り組まなければならぬ最重点課題として行政に課せられた課題ですが、町民の協力なくして目的達成はできません。社会福祉関係者のご尽力にお礼したい」とのごあいさつを頂きました。

来賓祝辞として、沖縄県社会福祉協議会の新垣健久会長より、「7つの圏域ごとに、ソーシャルワーカーを配置した、地域コミュニティインターネットワーク事業は、県内でも先進的な取り組みとして高く評価されているので、本大会を契機に今後も地域の福祉力に期待を寄せたい」とのごあいさつを頂きました。

①西地区だより

坂名城・安里・与座・仲座・大頓・大頓団地 (担当:川武繁男)

安里区(桃宇信之区長)では、公民館の流し台が古くなり、錆びがあるなどミニデイや諸行事に支障をきたしていたが、このほど地域コミュニティネットワーク事業の助成金を利用し、新しい流し台を購入することができました。ミニデイボランティアの皆さんや利用する区民の皆さんは、「これで、おいしいお茶が飲める」と喜んでいました。



大頓区(伊集守利区長)では、平成22年11月21日(日)に、八重瀬町具志頭運動公園で、大頓区三世交代パークゴルフ大会を開催しました。当日は、子ども、親、祖父母の三世代の約60人が参加し、交流を深めながら楽しくプレーしました。



この「社協だより」は会費・寄付金・赤い羽根共同募金配分金等で作成されています。

② 具港長長団地区だより 具志頭・港川・長毛・長毛団地 (担当:神谷芳和)

〔長毛団地内空き地活用 菜園整備事業〕

このほど、長毛団地1棟西側空き地が雑草がいっぱいだったのを、長毛団地老人クラブは、草を取りナスやピーマン、ネギなどの野菜を植え付けて、皆で収穫を楽しみました。



以前の雑草だった頃



野菜苗の植え付け後



以前の雑草だった頃

野菜苗の植え付け後



以前の雑草だった頃

野菜苗の植え付け後



〔福祉作業所ふれあいボウリング交流会〕

具港長長団地区では、このほど「福祉作業所ふれあいボウリング交流会」を開催し、小緑ボウリングセンターに、福祉作業所かすみ草やサザンウインドーの約20名が参加しました。



ボウリングランプ(投球補助台)でチャレンジ



入賞賞品を前に喜ぶ、はいパチリ

この「社協だより」は会費・寄付金・赤い羽根共同募金配分金等で作成されています。

③ 築拓地区だより

友寄、第一団地、白川ハイツ、外間団地、県営屋宜原団地 (担当:石川健)

【 平和学習教室の開催 】

このほど、外間団地、白川ハイツでは、「平和学習教室」を開催し、地区推進員の山内平三郎さんと、松永光雄さんが平和ガイドとなり多々名城、クラシンジョウーガマの案内をしました。当日は、27名が参加し、平和について体験学習をしました。



【 駐車場の拡張整備 】

外間団地では、団地住民の車両の増に伴い、違法駐車で困っているとの相談があり、駐車スペースを拡張するために、工事を着工しました。



④ 群星(せいせい)地区だより

屋宜原団地・友寄東ハイツ・大倉ハイツ・外間高層住宅(担当:与儀照子)

【 群星塾 】

婦人会や老人クラブの既存の組織のない群星地区では、群星塾を開催し、地区活性化から福祉のまちづくりの実現をめざそうと活動展開していますが、今回の第2回講座では、屋外講座の「人にやさしい環境づくりを楽しむ」をテーマに、塾生30人が個人宅解放の南城市オープンガーデンや那覇・南風原町クリーンセンター、リサイクルセンターを訪ねました。これは、ゴミ問題や環境リサイクルや花づくりに親しみ、わが町のまちづくりについて考えることを目的としたもの。



憩いのオープンガーデン視察



がんじゅう駅より、いざ出発!



【 群星地区ヘルシーいきいきクッキング教室 】 ～友寄東ハイツ～

「こんなに、簡単においしくできる方法があったんですね!」このほど開催されたヘルシーいきいきクッキング教室では、友寄東ハイツの皆さんが、知念久美枝先生(栄養士)を講師に迎え、ハンダマごはん、肝シンジ、豆腐オムレツ、もずくの中華風サラダ、ポテトもちの5品に挑戦しました。これは、高齢者が仲間づくりや地域の皆とつながりを持ちながら、生きがいを高め、食の自立を目的としたもの。

この日参加した、平良ヨシさんは、目を輝かせながら「こんな料理方法はめずらしいね」と関心しながら、昔とったきねづかでしょうか、テキパキと上手に取り組んでいました。



家でできるようにコネコネ覚えます



30代から80代まで交流クッキング



【 地域課題解決・個別相談の実施 】

- 1. 地域福祉懇談会より4件情報提供の依頼あり→社協だよりへの情報掲載にて対応。
- 2. 個別相談→ケース会議→保健師、地域包括、社会福祉課・民生委員との連携で対応。

この「社協だより」は会費・寄付金・赤い羽根共同募金配分金等で作成されています。

④ 東風平西部地区だより

志多伯・当銘・小城・宣次・外間 (担当: 藤 船)

【当銘地区三世代グラウンドゴルフ大会】 *～お楽しみ会～*

このほど、当銘区では、地区三世代グラウンドゴルフ大会を開催しました。
これは、子どもから保護者並びに高齢者まで当銘地区の住民が一堂に会して、グラウンドゴルフで交流しながら、コミュニケーションを図り住みよい地域を形成することを目的としたもの。



私たちも三世代で参加



ジャンケンポンで何決めるの?



おじいちゃんと一緒になら一番サ!



GGは、オレたちにまかせて!

【宣次区ミニデイクリスマス会】 *～お楽しみ会～*

平成22年12月6日(月)に、宣次地区のミニデイボランティアとその利用者が一堂に会して、楽しいクリスマス会を開催しました。



笑う門に福未たる



全員がプレゼントを手に満足なご様子

この「社協だより」は会費・寄付金・赤い羽根共同募金配分金等で作成されています。

① 志風地区だより

富盛・世名城・高良・後原・新城 (担当:神谷勝子)

高良友愛訪問

平成22年9月16日、高良シルバーボランティアは、普段、老人クラブ活動に参加出来ない会員や一人暮らしの方達10名にボランティア手作りのおやつを持参で訪問し、安否確認及び話をしました。



高良シルバーボランティア友愛訪問

世代間のスポーツ交流事業

少子高齢化社会が進む中で、隣近所との触れ合いが少ない地域が増えています。

そこで、全区民が一同に集まって集団演技や競技を楽しむことによって、健康づくりと区民相互の連携・融和を図る目的に実施しました。

●富盛(第24回区民運動会)

期 日:平成22年6月13日(日)9:00～

場 所:南部工業高校グラウンド

参加人数:500名



富盛区民運動会

●世名城(第44回区民運動会)

期 日:平成22年4月25日(日)9:00～

場 所:世名城馬場

参加人数:300名



世名城区民運動会

●後原(第31回区民運動会)

期 日:平成22年4月26日(日)9:30分～

場 所:新城小学校運動場

参加人数:240名



後原区民運動会

新城通り会ボランティア

新城通り会は、県道131号線沿いの環境美化の一環として、ボランティア一人ひとりが楽しみながら自宅前の草花の手入れ等を行い地域力と共に充実したボランティア活動の維持と推進を図る目的に実施しました。

ボランティア人数:25名



新城清掃ボランティア

⑦四ツ葉地区だより

東風平・伊覇・屋宜原・上田原(担当:仲村辰彦)



四ツ葉地区親子イモ掘り体験

四ツ葉地区では、平成22年11月26日(日)に子ども会を対象に、親子イモ掘り体験を実施しました。地区内の親子約50名が参加し、楽しい一日を過ごしました。

四ツ葉地区ふれあいピクニック

このほど、四ツ葉地区では母子世帯を対象にふれあいピクニックを開催し、沖縄美ら海水族館を見学し、地区内親子の交流を深めました。



親子の絆を深めたピクニック



字伊覇老人クラブピクニック

字伊覇の老人クラブでは、読谷村伝統文化センターや今帰仁城跡の見学や北部観光を行い、楽しく交流が出来ました。

5. 地区活性化支援事業(助成金交付)

【屋宜原地区 門扉設置事業】

目的: 地域で抱えているさまざまな福祉課題を解決するためや、地区の活性化・コミュニティーの形成、住み良い地域づくりの研究や活動に対して交付しました。

内容: 拝所の防護柵と門扉の設置工事を行いました。

効果: 以前の拝所は、自治会館の敷地内横にあり、スペースが狭く拝む場所としては、不便であった。また、防護するような柵も無くひっそりとありましたが、今回の助成金で防護柵と門扉を設置することができました。また、拝所をグラウンド側に移動させることができ、拝む場所のスペースが広がったと地域住民から大変喜ばれています。



宇東風平配食サービスボランティア



東風平配食ボランティアの皆さん



セルラースタジアムの見学



いざ、配食へ。東風平ボランティアの皆さん



本所ボランティア



せ名城配食ボランティアの皆さん

社協には、様々なボランティアがいますが、配食サービスも、担当職員のみではなく、多くのボランティアに支えられています。一人暮らしの方や高齢者のみ世帯へ、地域のお馴染みの顔のボランティアさんが、お昼の弁当を届けながら安否の確認をすることで、利用者に喜ばれています。宇東風平でも、2人1組で毎週の曜日で組み合わせて活動

しています。宇公民館までは、配食担当や本所ボランティアさんが運び、ステーションとして知念区長や区事務所職員もボランティアの仲間入りです。

真夏の暑い日も、冬の冷たい風の日も、雨の日も、利用者の安否を気遣い、配食している姿は、ワーガサネーターガスガ（自分がしなければ、誰がするか）という「うちなーのあんまー」ならでは、地域の温かさを感じます。

この日は、四ツ葉地区のワーカーや配食担当職員とともに、ボランティア交流会を持ちました。普段は、利用者のケース会議や調整会議をもつのですが、この日は屋外に出て、那覇市奥武山にあるセルラースタジアムなどの視察見学やショッピングをして楽しみ、ボランティアさんへのねぎらいの日となりました。

その他、宇世名城配食ボランティアの皆さんも継続して頑張っています。また、社協配食担当の職員は、在宅生活を支える直接サービスの職員ならではの明るさで、利用者の皆さんが安心して生活ができるよう、食の自立支援に向けてサービス提供しています。



支所:見守りネットワーク担当職員



本所:配食サービス担当職員

ちよつと拝見！団体活動③

八重瀬町身体障害者協会

八重瀬町身体障害者協会は、各種団体と連携を密にし、会員相互の親睦と福祉増進を図ることを目的に、町内の身体障害者で組織されています。

48名の会員からなり、役員として各地域の代表14名が理事となり、会長、副会長2名、監事2名、事務局は社協職員で構成されています。

会長は、神谷信吉さん、副会長は謝花昇栄さん、森田清光さんです。毎月のように定例会、勉強会や盛りだくさんの行事があり、会員間の交流も多く持たれています。



～町身協史跡めぐり～

「初めて行ったところが多く、特に与座の世持井（ユムチガイ）は、大変印象に残った。」と、語るのはこの日参加した白川ハイツの国吉明さん。

この日は、旧具志頭村の史跡めぐりを、浦崎栄徳さんを講師に招き、新城グスク、具志頭の自然橋、具志頭グスクなど、現場に行き、説明を受け勉強したのですが、旧具志頭村に多くの史跡があるのに驚いた様子でした。

随時、会員を募集中で、今年も、さくらまつりの見学や東村つつじまつりの見学など、楽しい屋外活動も計画されています。



具志頭グスクにて



屋外での学習も楽しみです

（ようこそ、社協へ♡ほのほのかわいいお客さん
 ただいま♡しあわせ♡まったなか
 ～子育て奮闘中！の巻～

「自分で子育ての楽しみ（感動）を味わいたい！」

今回は、社協の事務所の社会福祉会館を出入りしたり、庭ではしゃいだりしている子育て支援センターびっぴを利用中の若いお母さんたちに話を聞きました。

びっぴとは、社協の隣の保健センター内にあり、乳幼児を持つ親子が、好きな時に来て遊び、ゆったり過ごせる空間。育児に関する相談に応じたり情報提供など子育て家庭の育児支援を行っているところです。



週4回、びっぴに通っているという、神谷 輝子君（1才）と母親の美和子さん（字東風平）親子。「八重瀬町にお嫁に来て2年、周りが分からない状況の中、この子を通して地域を知るので、親も勉強になります」と、ほほ笑む。



宮城心ちゃん（1才）の母親の幸佑美さん（字友寿）は、じっとしてない我が子を追いかけ楽しそう。「ここちゃん！ここちゃん来て！」と呼んでも、好奇心旺盛なここちゃんは、小波津先生手作りのカード通しがお気に入りな様子でした。



羽室ひなちゃん（1才）と母親の晶子さん（字東風平）は、「この子は、3人目の子です。元気に育てたい、これが一番の願いです」と、ベテランママはゆとりです。

♡親子の憩いの場にベンチも仲間入り♡

八重瀬町社会福祉会館西側にできた子どもたちの遊び場は、ボランティアや町社協職員や子育て支援センターびっぴの先生たちで整地したり花を植えたりで、コツコツと子育て環境づくりをしてきました。このほど、この様子をみた木工職人で職覚障がい者の森田清光さん（字坂名城）は、子どもたち親子が木陰で休めるようにと、手作りのベンチを寄贈しました。

11月29日（月）の爽やかな朝、戸外用のテーブル付きベンチのプレゼントに、びっぴに遊びに来た親子等は、大喜びではしゃいでいました。



ベンチのプレゼントに大喜びの親子の皆さん

この「社協だより」は会費・寄付金・赤い羽根共同募金配分金等で作成されています。

〈ご 寄 付〉

ご芳志誠にありがとうございます。この寄付金は、町内の福祉事業のため有効に活用させていただきます。紙面をかきりて衷心より厚くお礼申し上げます。

平成22年10月5日～平成22年12月10日

単位：円

月 日	寄付者氏名 (敬省略)	住 所	金 額	備 考
10月5日	永山千代	字当銘	30,000	トーチ祝いの記念として
10月5日	当山ツル子	字後原	100,000	故夫 忠正様の香典返しとして
10月8日	久保幸喜	字具志頭	50,000	故三女 澄子様の香典返しとして
10月8日	當銘直勝	字東風平	100,000	故父 直光様の香典返しとして
10月21日	滝野英雄	字具志頭	50,000	故母 良様の香典返しとして
10月29日	糸満雨子	字屋宜原	30,000	故夫 辰雄様の香典返しとして
10月29日	宮平春	字友寄	30,000	カジマヤー祝いの記念として
11月1日	神谷清子	字東風平	50,000	故夫 栄幸様の香典返しとして
11月2日	新垣光子	字東風平	50,000	故夫 隆助様の香典返しとして
11月4日	仲里秀仁	那覇市	30,000	故弟 安男様の香典返しとして
11月11日	陸上自衛隊沖縄分屯地曹友会	字富盛	10,000	チャリティボウリング大会収益の一部として
11月18日	当真副一	字長毛	30,000	故母 当真ハツ様の香典返しとして
11月22日	伊元幸信	沖縄市	50,000	故母 ハル様の香典返しとして
11月22日	神谷勝子	字東風平	100,000	故夫 誠勝様の香典返しとして
11月25日	東風平中学校 30 期同期会	字東風平	50,000	生年祝い合同会の記念として
11月25日	嘉数幸進	字宣次	50,000	トーチ祝いの記念として
12月6日	眞保榮スミ	字具志頭	100,000	故夫 清正様の香典返しとして
12月6日	株式会社園場組工事部 (島尻現場)		50,000	一般寄付として
12月7日	中村傳孝	字東風平	20,000	故母 ヨシ様の香典返しとして
12月10日	細坪基佳コンサートチャリティ 実行委員会大城友弥		70,000	チャリティコンサート時の寄付として
合 計			1,050,000	



平成22年11月13日に八重瀬町具志頭農村環境改善センターで開催されたふれあいコンサートで、会場を感動で包んだ細坪基佳さん(元ふさのこ)は、ハートフルシンガーの大城友弥さんとともに町役場を訪れ、町社協に7万円の寄付をしました。



いつまでもお元気で！
嘉数幸進さん(字宣次)は、県外にいる息子の帰省に合わせて最近トーチ祝いをしましたと、ご本人が来所し、記念にご寄付をされました。

編集後記

八重瀬町誕生初の町社会福祉大会で表彰された方々の多さに驚いた方もいらっしゃるかもしれません。

「ああ、やっぱり！あの方が、社会福祉に貢献された方々の受賞は、誰もがうなづくばかりでした。二つの良いことをするのも大変なことですが、それを長いこと続けた方々のご苦労は称賛に値します。」

また、新しいもの(事業)を産み出し、それを軌道に乗せた尽力を認めることも大切ですが、一方目に見えない努力をどう評価するかも大切なことと思います。

今回の表彰は、地道な活動に陽が当てられ、喜びもひとしおでした。皆様のご労苦をたたえ、拍手を送りたいと思います。やはり、昔のために尽くしたり、何かを行う等奉仕の心があり、これを認め、讃えあえることができることはすばらしいことです。

さあ、今年も楽しいことをいっしょにつくり、うさぎ年にちなんで、皆でびんびん飛び跳ね、炎を払いのけ福を招きましょう！

(Y&S)